

# 景気ウォッチャー調査

平成12年3月調査結果

平成12年4月21日

経済企画庁調査局

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査の範囲

#### (1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、平成12年1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

#### (2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

### 3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

### 4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

### 5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)	財団法人	日本経済研究所
(地域別調査機関)	北海道	株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東北	財団法人 東北開発研究センター
	関東	財団法人 日本経済研究所
	東海	株式会社 東海総合研究所
	近畿	株式会社 大和銀総合研究所
	九州	財団法人 九州経済調査協会

### 6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	100人	100.0%	東海	100人	100人	100.0%
東北	100人	97人	97.0%	近畿	100人	96人	96.0%
関東	100人	91人	91.0%	九州	100人	95人	95.0%
				全国	600人	579人	96.5%

# 目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	12
(1) 全国の動向	12
(2) 各地域の動向	12
(3) 景気の先行きに対する判断理由	13
(参考) 現在の景気水準に対する判断	20
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	21

## 利用上の注意

1. 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
2. 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
3. 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

## D I の算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、DIを算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらとも言えない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

## 概 要

### 1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I  
(D I) 平成12年

	1月	2月	3月
合計	45.3	48.6	55.2
家計動向関連	43.4	47.0	53.3
企業動向関連	45.8	49.1	57.0
雇用関連	58.9	60.7	66.7

図表B 各地域における景気の現状判断D I  
(D I) 平成12年

	1月	2月	3月
全国	45.3	48.6	55.2
北海道	45.3	47.0	51.5
東北	42.3	46.8	54.1
関東		47.0	53.8
東海	51.8	53.8	59.8
近畿	43.3	48.2	53.1
九州	42.9	48.7	58.7

### 2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I  
(D I) 平成12年

	1月	2月	3月
合計	51.1	54.6	54.9
家計動向関連	49.4	53.2	53.8
企業動向関連	52.3	55.8	53.8
雇用関連	61.9	62.8	67.2

図表D 各地域における景気の先行き判断D I  
(D I) 平成12年

	1月	2月	3月
全国	51.1	54.6	54.9
北海道	49.0	53.5	52.0
東北	51.6	56.0	54.6
関東		53.5	52.5
東海	54.5	54.1	60.3
近畿	51.1	54.7	54.4
九州	49.2	55.5	55.3

(備考) 1月の全国の値は関東を除く5地域の合計。

## 1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

### (1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	45.3	48.6	55.2			
家計動向関連	43.4	47.0	53.3			
小売関連	42.7	48.1	51.9			
飲食関連	44.0	40.8	54.3			
サービス関連	44.3	47.3	55.1			
企業動向関連	45.8	49.1	57.0			
雇用関連	58.9	60.7	66.7			

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

### (2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I (各分野計)

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	45.3	48.6	55.2			
北海道	45.3	47.0	51.5			
東北	42.3	46.8	54.1			
関東		47.0	53.8			
東海	51.8	53.8	59.8			
近畿	43.3	48.2	53.1			
九州	42.9	48.7	58.7			

地域別の景気の現状判断D I (家計動向関連)

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	43.4	47.0	53.3			
北海道	43.4	46.1	50.3			
東北	39.0	44.9	52.5			
関東		46.6	51.5			
東海	50.7	51.4	57.5			
近畿	41.7	46.5	52.3			
九州	41.2	46.4	55.6			

### (3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

#### 北海道

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・買い控えが終わり、客の財布のひもがゆるんでいる。春になって特にミセス層の売上が伸びている。
		百貨店(売場主任)	・紳士服では重衣料が落ち込んでいるなど、平均単価は低下しているが、百貨店全体で見れば客数、売上は伸びている。
		スーパー(店長)	・雪解け、卒業、進入学といった季節的要因により、客の購買意欲が若干高まっている。
		高級レストラン(スタッフ)	・来客数が相当伸びている。
		一般レストラン(スタッフ)	・来店回数が増加しており、初めての客も増えている。
		旅行代理店(従業員)	・このところ旅行需要が確実に高まっている。
		旅行代理店(従業員)	・個人旅行の動きが非常に活発である。法人関係は横ばいだが、若干持ち直している気配が感じられる。
		美容室(経営者)	・洋服を買う、ホテルでバイキングを食べるなど、購買意欲が出てきたような会話が多い。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・相変わらず衝動買いがなく、必要な物でもじっくり見比べて購入している。
		百貨店(売場主任)	・イベントを開催すると客が集まるが、イベントが終わると元に戻ってしまう。
		コンビニ(エリア担当)	・客の買上個数は増加しているが、商品単価が上昇しない。
		家電量販店(店長)	・単品買いが目立っている。
		家電量販店(店員)	・パソコンの売上は伸びているが、テレビ、ビデオ、冷蔵庫、洗濯機などの需要が落ちている。全体としては余り変化がない。
		乗用車販売店(従業員)	・来客数が依然として少ないままである。
		タクシー運転手	・利用客の使用回数に改善がみられない。
		住宅販売会社(従業員)	・来場者数に変化がない。 ・来場者から景気が依然として悪いという話をよく聞く。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・3月はかなり人出が多い月にもかかわらず、人出が少ない。
		スーパー(店長)	・内祝い用のギフト需要が全くない。 ・単価の低い商品は動いているが、全般的には悪い。
		乗用車販売店(従業員)	・新卒者による自動車の新規購入が今一歩であった。
一般レストラン(スタッフ)		・高価格のメニューが売れず、低価格のメニューばかり売れており、全体の売上が落ちてきている。	
スナック(経営者)		・例年に比べ招待、接待、送別会が減少している。	
タクシー運転手		・客が、タクシー乗務員の賃金と入社方法を聞いてくることが多くなった。	
悪くなっている	コンビニ(エリア担当)	・販売促進の効果がなくなってきている。	
企業 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	司法書士	・大きなビルの取引が2件あった。
	変わらない	非製造会社[建設機械リース](従業員)	・設備投資、リースともに低調のままであり、変わっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		非製造業 [ 建設機械リース ] ( 営業担当 )	・年度末の駆け込み需要も弱く、変化がない。
		司法書士	・土地の売買が相変わらず少ない。 ・住宅確認申請も少ない。
	やや悪くなっている	輸送業 ( 支店長 )	・物流業界では例年3月には動きが出るが、今年は盛り上がらない。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社 ( 社員 )	・企業から派遣や採用の受注が増加している。
		求人情報誌製作会社 ( 編集者 )	・正社員の求人は伸びていないが、臨時雇用の求人は伸びている。
		求人情報誌製作会社 ( 編集者 )	・飲食、小売、サービス関係に活気がみられる。
	変わらない	人材派遣会社 ( 社員 )	・3月末までの短期の仕事は増加しているが、これは正社員の代わりに派遣社員を採用するというものである。 ・契約更新時の時給の引き上げを拒否されることが多い。
		新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	・流通関係の広告要請が依然として良くない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

## 東北

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない )

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	高級レストラン ( スタッフ )	・法人需要の回復がみられる。 ・歓送迎会や祝い事などにより、人の動きが活発化している。
	やや良くなっている	商店街 ( 代表者 )	・寒さや降雪で客足が鈍くなっていたが、少しずつ暖かくなっており、人出が多くなりつつある。
		百貨店 ( 企画担当 )	・全体としては、客単価の低迷から厳しい状況にあるが、3月に入り、ヤング向けでヒット商品も現れ、少しずつ回復してきている。
		家電量販店 ( 総務担当 )	・パソコンなどの情報家電と洗濯機、冷蔵庫などの白物家電の売上が前年を上回ってきている。
		高級レストラン ( スタッフ )	・相変わらず単価が伸びず売上増につながらないが、客数が明確に増加している。 ・サークルなど小グループ単位の利用が目立ち始めている。
		一般レストラン ( 経営者 )	・わずかではあるが、来客数、売上ともに増加しつつある。
		都市型ホテル ( 経営者 )	・忘年会の時期は大変客の入りが悪かったが、3月の歓送迎会の時期は例年に比べ予約状況が良く、単価も上昇している。
		タクシー運転手	・日々のばらつきはあるが、深夜のタクシー利用客が以前に比べ増加している。
		住宅販売会社 ( 経営者 )	・住宅展示場への来客数が増加している。 ・インターネットでのアクセス数が増加してきている。
	変わらない	百貨店 ( 広報担当 )	・1、2月は初売りなどの効果もあったが、長期的にみれば売上単価は低下しており、回復基調にあるとは言い難い。
		スーパー ( 店長 )	・3月の決算パーゲン目当ての買物が多くなっており、必要な物を低価格で買い求める傾向が続いている。
		都市型ホテル ( スタッフ )	・追加ドリンクの注文などわずかながら動きが出てきているが、全体としては変わらない。
		都市型ホテル ( スタッフ )	・3月は歓送迎会などの宴会が多くなっているが、季節的要因を除けば変わらない。



分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		タクシー運転手	・転勤、卒業など季節的要因から上向きになっているが、これらを除けば変わらない。
	やや悪くなっている	スーパー（経営者）	・個人の客単価が低下している。
		衣料品専門店（店長）	・寒さの再来で、サラリーマン向けの春物の出遅れが目立つ。
		インテリア専門店（店長）	・来客数は変わらないが、客単価が低下している。
	悪くなっている	遊園地（経営者）	・販売促進策などで単価が上昇しているものの、寒波の影響で客数の増加に結びつかない。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	・高額商品の取引に動きがみられ、飲食店が持ち直してきている。
		電気機械器具製造業（従業員）	・設備投資用機器の受注が伸びている。
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・取引先でも良い業種と悪い業種の差が大きく、全体としては変わらない。
		電気機械器具製造業（従業員）	・客とのやりとりの中でも活気がみられず、停滞している。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・取引先の8割以上が売上、収益の減少を訴えており、当社も同様の状況にある。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・業種にばらつきはあるが、企業の人材需要は高まってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・中小企業の雇用が改善しつつあり、求人募集広告は3か月前より20%ほど増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・全体的には変わらないが、前年と比べ3分の2程度の忙しさである。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

## 関東

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている		
	やや良くなっている	百貨店（買付担当）	・婦人服は、不振だった12月に比べ好調な状況が続いている。ミセス向けの売行きが良い。
		スーパー（統括）	・競合店の出店により潜在的な購買力が喚起され、客数が増加している。ただし、支出が増加しているのは食品のみである。
		コンビニ（店長）	・生活必需品でない物でも、欲しい物は購入する傾向がみられる。
		衣料品専門店（統括）	・3月は、特に春の入園、入学関連の需要が大きく、売上が非常に伸びている。
		衣料品専門店（従業員）	・ヤングミセスの春物衣料を中心に好調に推移している。
		一般レストラン（経営者）	・客の注文する料理が高額となってきた。客単価が少しずつ上昇している。
		タクシー運転手	・相変わらず早朝、深夜の動きは悪いが、歓送迎会や異動の季節であるために需要が多少増加している。
	その他サービス〔語学学校〕（営業担当）	・カードや現金による30、40万円の一括払いが増加してきている。 ・問い合わせ件数、来校者数が増加している。季節的要因もあるが、景気という点からみても良くなっている。	
変わらない	百貨店（買付担当）	・1月のクリアランスの好調、2月のうるう年による微増など、1、2月は比較的堅調に推移したが、3月は天候等の要因もあり変化がみられない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		乗用車販売店(従業員)	・決算期ということで、売上が多少増加しているが、値引きも通常より拡大しているため変わらない。
		一般レストラン(支配人)	・3月は歓送迎会の季節であることから、売上目標を達成できたが、一般客の木、金曜日の来客数に変化がなく、一過性のもと思われる。
		旅行代理店(従業員)	・春休みで客数は増加しているが、客単価が低下しており、全体的には変わらない。
		タクシー運転手	・深夜の乗客数が依然として少ない。 ・時間の早い帰宅客は、皆バスを利用している。
		住宅販売会社(従業員)	・新築住宅の計画客が増加していない。
	やや悪くなっている	スナック(経営者)	・常連客の来店回数がかなり減少している。
		ゴルフ練習場(従業員)	・月を追うごとに来客数が減少している。
悪くなっている	都市型ホテル(スタッフ)	・客室稼動が前期に比べ低下している。 ・婚礼も小粒化しており、客単価が低下しており、件数も減少している。	
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・3か月前に比べ売上が約40%増、対売上利益率が30%増と改善している。
	やや良くなっている	精密機械器具製造業(経営者)	・依然として明るい状態ではないが、親会社からの研究開発費が増加しており、少し良くなっている。
		輸送業(統括)	・取扱量は高止まりの状態が続いている。
	変わらない	広告代理店(従業員)	・12年度予算を11年度予算と同等若しくはそれ以下とするクライアントが多い。
		その他企業[情報サービス](従業員)	・設備投資の削減傾向が続き、短期のスポット的な仕事为中心となっており、変化がない。
	やや悪くなっている	その他製造業[印刷](営業担当)	・通常なら名刺の注文などがある常連客からの注文がない。企業はかなり厳しい状態とみられる。
悪くなっている			
雇用関連	良くなっている		
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・入学、入社等で客の動きがあり、百貨店の催事も活発となっており、短期の求人依頼が出てきている。
		求人情報誌製作会社(営業担当)	・継続して利用する客の数が増加している。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・派遣の売上は増加しているが、社員の雇用が減少しており、雇用の拡大とは一概にはいえない。 ・派遣登録者数が倍増している。求職者は20代前半から中高年までの男女となっており、未就労者が年齢、性別に無関係に増加している。
	やや悪くなっている	新聞社[求人広告](担当者)	・経費節減として求人募集費用を抑えるため、10社以上から値引きを求められている。
	悪くなっている	-	-

## 東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	一般小売店(経営者)	・客数が増え、土産物や飲食の売上が増加している。
		高級レストラン(スタッフ)	・法人、個人ともに客数が前年を上回っている。特に週末における客数の増加が目立っており、「花金」が復活したと思われる。
	やや良くなっている	百貨店(販売促進担当)	・婦人服、食品等が好調で、主婦層の買物に明るい兆しが見える。
		百貨店(企画担当)	・JRセントラルタワーズのオープンによる動員効果で客数が大幅増となった。
		百貨店(売場主任)	・JRセントラルタワーズのオープンによる売上減が当初見込みより小さく、購買意欲が高まってきた。 ・高額商品にやや動きが出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		百貨店（販売促進担当）	・物産展の集客が良い。	
		スーパー（店長）	・嗜好品、調味料、酒の売上が上向いている。 ・高額商品にやや動きが出てきている。 ・客数の増えた店舗数が増加している。	
		コンビニ（エリア担当）	・新型ゲーム機の発売もあり、売上が前年を上回っている。	
		家電量販店（経営者）	・客の買上点数が増加している。	
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・JRセントラルタワーズのオープンによる波及効果で、地方からの集客力が増している。	
		乗用車販売店（経営者）	・利益は少ないが、売上が増加している。	
		乗用車販売店（従業員）	・売上台数が増加している。	
		一般レストラン（スタッフ）	・特に中堅サラリーマンの客単価が上昇している。	
		スナック（経営者）	・送別会等が例年よりも増加している。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・レストラン、宴会の客数が増加傾向にあり、単価も低下していない。	
		テーマパーク（職員）	・閑散期にもかかわらず、日曜日の駐車場が2、3回満車となった。	
		旅行代理店（従業員）	・個人旅行が順調である。	
		住宅販売会社（従業員）	・ローンによる購入は伸びないが、親の援助による自己資金での住宅購入が増加している。	
	変わらない	スーパー（店長）	・客単価が上昇していない。	
		コンビニ（エリア担当）	・必要不可欠な食品は売れるが、雑貨等の売行きが良くない。 ・客数の減少は小さいが、客単価が上昇していない。	
		家電量販店（店員）	・高額商品の売行きが良くなっていない。	
		その他専門店〔玩具〕（店員）	・必要な物以外購入しない消費行動が続き、売上の大きな伸びがない。	
		乗用車販売店（経営者）	・売行きは安定的であるが、新卒社員による乗用車購入の動きが鈍い。	
		高級レストラン（スタッフ）	・安いまたは付加価値のあるメニュー以外の注文状況が良くない。	
		スナック（経営者）	・個人利用の客は増えているが、法人利用の客が少ない。	
		テーマパーク（職員）	・客単価が上昇していない。	
		ゴルフ場（経営者）	・来場者数が増加せず、単価も上昇していない。	
		パチンコ店（経営者）	・客単価に変化がない。	
		タクシー運転手	・営業回数はやや増えたが、深夜の客が増加しない。	
	やや悪くなっている	スーパー（店長）	・客単価が低く、商品回転率の鈍化もみられる。	
		乗用車販売店（従業員）	・3月後半の来客数が減少している。	
		スナック（経営者）	・団体客が少ない。	
	悪くなっている	コンビニ（店長）	・客数、単価の対前年比が悪く、目新しい商品でも売れない。	
		テーマパーク（職員）	・客数が天候に大きく左右される。	
		住宅販売会社（従業員）	・契約に対して客が非常に慎重となっている。	
	企業動向関連	良くなっている	税理士	・顧問先の飲食関連店舗の売上が、3か月前に比べ10%程度増加している。
			食料品製造業（企画担当）	・企画が良くニーズと合致すれば、高額商品でも売れる。
やや良くなっている		電気機械器具製造業（営業担当）	・仕事量が増加している。	
		輸送用機械器具製造（経理担当）	・受注が前年を上回っている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		新聞販売店〔広告〕 (店主)	・折込広告が増加している。
		会計事務所(所長)	・設備投資や新規開業に関する個人事業主の相談がやや増加している。
	変わらない	広告代理店(従業員)	・ニューメディア、インターネット関係の仕事は増加しているが、単価は低下している。
		輸送業(エリア担当)	・荷物はやや増加しているが、客単価が上昇しない。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社 (編集者)	・求人企業数が増加している。
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・人材派遣の募集広告が増えており、製造業の求人広告も増加しつつある。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社 (編集者)	・若手営業スタッフや幹部候補、技術者の求人が増加している。
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・パート、アルバイト、派遣等の求人が増加している。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・パート、派遣等の臨時雇用の求人は多いが、正社員の本格的な採用が少ない。 ・契約を継続する派遣社員の単価が上昇していない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

## 近畿

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	その他住宅〔展示場〕 (従業員)	・来場者数が増加している。
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・長らく消費を我慢していた層が、ようやく消費に向かい始めている。
		百貨店(売場主任)	・旅行用、結婚支度などのまとめ買いが戻ってきている。
		その他専門店〔薬〕 (経営者)	・買上点数が増加し、1品当たりの単価が上昇している。
		その他専門店〔時計〕 (経営者)	・チラシに対する反応が改善している。
		乗用車販売店(営業担当)	・個人の自動車購入が増加している。
		一般レストラン(スタッフ)	・既存店の来客数の伸びが回復傾向にある。
		観光型旅館(経営者)	・客数が増加している。客単価も上昇し、総収入は3か月前を上回っている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・夜遅くまで飲んだ後、予約なしで宿泊する客が増加している。
		旅行代理店(営業担当)	・旅行の申込が徐々に増加している。
		住宅販売会社(営業担当)	・公務員だけでなく、民間の製造業等の人からの受注も増加している。
	変わらない	商店街(代表者)	・低価格の商品を買い、余分な物を買わない状況は変わらない。
		商店街(代表者)	・来客はあるが買上に結びつかず、単価も低い状況が続いている。
		百貨店(売場主任)	・引き続き高額品ゾーンが好調で、ボリュームゾーンは厳しい。
コンビニ(店長)		・依然として客単価が上昇せず、客数も増加していない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		その他専門店[宝石] (経営者)	・来客数、売上が全く変わらない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・宴会の件数は増加しているが、客単価が上昇しない状況が続いている。
		観光名所(経理担当)	・客単価、売上が伸びず、買物をしない客が多い状況は変わらない。
		競輪場(職員)	・車券売上の回復の兆しはなく、入場者数、平均購買単価も依然低迷している。
	やや悪くなっている	コンビニ(エリア担当)	・売上が悪化している。
		インテリア専門店(経営者)	・売上が減少している。
		高級レストラン(店長)	・団体の利用が減少しており、単価も低下している。
		スナック(経営者)	・遅くまで営業し、タクシーを使わなくなっているため、飲食店で働く者をねらったひったくりが多発しており、街のムードが悪く、客の出足も悪化している。
		テーマパーク(職員)	・来客数が減少傾向にあり、客単価も低下している。客は決して無駄遣いをしない。
		悪くなっている	商店街(代表者)
	商店街(代表者)		・人通りが少なく、売上が減少している。
	競輪場(職員)		・開催ごとに1人当たりの車券購入額及び入場者数の減少によって、売上が減少している。
	企業動向 関連	良くなっている	-
やや良くなっている		一般機械器具製造業(経営者)	・新規受注が増加している。
		電気機械器具製造業(経営者)	・注文が少しずつ増加している。
		その他製造業[金属製品](経営者)	・荷動きがやや改善している。
		広告代理店(営業担当)	・仕事が増加している。
		広告代理店(従業員)	・新聞広告の出稿量が少し回復している。
変わらない		電気機械器具製造業(経営者)	・エレクトロニクス関連は忙しくなっているが、価格については厳しい状況が続いている。
		電気機械器具製造業(経営者)	・引き合いが増えているが、受注が成立し難い面は変わらない。
		その他製造業[紙加工品](経営者)	・依然として短納期、小ロットの受注が多い。
		経営コンサルタント	・コンサルティング先の受注、生産が余り好転せず変わらない。
		会計事務所(職員)	・一部の業種は非常に良くなっているが、伝統的な業種はなかなか良くなれない状況は変わらない。
		その他企業[ネジ](団体役員)	・生産数量は増加したが、出荷額は横ばいである。
やや悪くなっている		繊維工業(経営者)	・同業者が2社倒産した。
		一般機械器具製造業(経営者)	・東南アジアの景気が回復しているというが、具体的な工場新設の話はまだ少なく、もう少し時間がかかりそうである。 ・国内の民間設備投資の環境は極めて厳しい。
		司法書士	・事業を縮小する顧客がいる。
悪くなっている		繊維工業(経営者)	・得意先の倒産があり、他の得意先でも業績が悪く、信用不安が再度高まっている。
		その他企業[タオル](団体職員)	・出荷数量の減少幅がますます拡大している。 ・3月に入り、関連会社が倒産した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社(社員)	・新聞広告で人材派遣会社のスタッフを募集しても登録者数が大変少ない。 ・好景気のとくと同様にホテルで登録説明会などを実施する派遣会社が増加している。 ・派遣料金の値上げも交渉されている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・求人広告の掲載希望者数が増加している。
	やや良くなっている	人材派遣会社(経営者)	・派遣依頼が増加しており、業種も多岐にわたっている。
		人材派遣会社(社員)	・建設関連、中小の技術系統の企業からの派遣需要が増加している。
	変わらない	人材派遣会社(編集者)	・求人広告の掲載件数が増加している。
		人材派遣会社(経営者)	・派遣依頼が一進一退の状況にある。
やや悪くなっている	アウトソーシング企業(経理担当)	・10万円程度の売掛金の集金が遅らされ、更に5回から10回の分割で頼まれるなど、今までの常識では考えられないケースが若干増えている。	
悪くなっている	-	-	

## 九州

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	家電量販店(企画担当)	・春闘も終わり昇給もあったことから、良くなっている。
		一般レストラン(経営者)	・過去のデータと比較して、売上が増加している。
	やや良くなっている	百貨店(販売促進担当)	・2月の好調さが持続している。高額品の動きも堅調である。 ・ヤングのヒット商品も出て春物も好調である。
		百貨店(営業担当)	・3か月前はすべての商品で悪かったが、現在はミセス向けを中心に良くなっているものもある。
		コンビニ(店長)	・コンサートやイベントのチケット、旅行クーポンの需要が高まっている。
		乗用車販売店(従業員)	・自動車の販売台数が前年比で104~105%となり、下期通算でも100%を超えている。
		観光型ホテル(スタッフ)	・最近、購買力が上向いてきた模様である。ホテル内の売店でもよく買物が行われている。
		ゴルフ場(従業員)	・客の支出行動が良くなってきている。
		旅行代理店(従業員)	・申込、来店件数ともに3月は非常に良い数字となっている。
		美容室(経営者)	・人の動き、売上が徐々に良くなっている。
	設計事務所(職員)	・若干、物件が増加している。	
	変わらない	商店街(代表者)	・3月は12月同様売れる月だが、人通りが少ない。
		商店街(代表者)	・暖かくなり人の動きは良くなっているが、購買等への影響は少ない。
		スーパー(営業担当)	・賃上げ等の抑制傾向が強まり、客の価格に対する意識が厳しくなっている。
		家電量販店(店員)	・冷蔵庫、洗濯機等の生活に必要な製品は高額でも売れるが、オーディオ、大型テレビ等趣味の製品は動きが鈍い。
		高級レストラン(スタッフ)	・3月は送別会などで宴会が多かったが、低予算のままである。
		ゴルフ場(従業員)	・予約の出足は前年並みであり、回復が鈍い。
		パチンコ店(従業員)	・店の売上が2月から横ばいで、変化がみられない。
		競輪場(職員)	・売上は1月から変わらず、上昇する見込みがない。
住宅販売会社(従業員)	・住宅は長期返済を伴うため、将来に対する不安により慎重な客が多く、計画が先送りされる。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	・客足が少なく、購買単価も上昇しない。
		商店街（代表者）	・客は必要な物以外を購入しない。
		商店街（代表者）	・商品単価が冬物に比べ2分の1程度に低下しており、売上に影響を与えている。
		百貨店（営業担当）	・購買単価が下期は上昇していたが、ここ2か月低下傾向にある。
		スーパー（店長）	・99年3月に地域振興券等の景気対策に伴い消費税還元セールを行ったので、3か月前に比べその反動減が目立った。
		コンビニ（店長）	・既存店の売上が前年比で減少しており、減少幅も拡大している。
		衣料品専門店（総務担当）	・アーケードを歩くのは若者ばかりが目立っており、中年婦人が少なく、販売も若者に頼っている。
		住宅販売会社（従業員）	・年度末における公共工事の駆け込みが少ない。
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・3か月前と比較して仕事が増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体や機械装置関係の外注先において、仕事が一杯の状態となっている。
		その他製造業〔窯業土石製品〕（経営者）	・現在、公共工事の発注量と当社の受注量がピークに達しており、生産、出荷量ともに本年度最高となっている。
	やや良くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	・仕事量が増加している。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・輸出、国内向けともに受注が増加している。
		輸送業（従業員）	・荷動きが良くなっている。日によっては、車両台数が不足している。
		経営コンサルタント	・3月になって株式公開の話がかなり出てきている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・低価格商品が売れ、高級品が売れない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・売上高が3か月前と変わらない。
		広告代理店（従業員）	・折込チラシ自体は少しずつ良くなっているが、店主の話によれば売上は伸びていない。
		輸送業〔陸上貨物〕（従業員）	・受注件数は増加しているが、景気が良いといえるほどではない。
		やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・長期の事務系の仕事が増加してきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人関係の前年比をみても伸び率が良い。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業業績の改善により、全般に求人広告が増加してきている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・中途採用は増加しているが、新卒の採用は厳しい。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・大手企業の支店開設が増加している一方で、閉鎖する企業、事務所なども目立っている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・業績は数字的には良いが、力強さが感じられない。
		やや悪くなっている	-
	悪くなっている	-	-

## 2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

### (1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	51.1	54.6	54.9			
家計動向関連	49.4	53.2	53.8			
小売関連	49.7	52.7	53.3			
飲食関連	45.8	53.1	52.6			
サービス関連	50.9	54.0	54.9			
企業動向関連	52.3	55.8	53.8			
雇用関連	61.9	55.8	67.2			

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

### (2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I (各分野計)

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	51.1	54.6	54.9			
北海道	49.0	53.5	52.0			
東北	51.6	56.0	54.6			
関東		53.5	52.5			
東海	54.5	54.1	60.3			
近畿	51.1	54.7	54.4			
九州	49.2	55.5	55.3			

地域別の景気の先行き判断D I (家計動向関連)

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	49.4	53.2	53.8			
北海道	46.2	51.1	50.0			
東北	50.4	53.4	53.5			
関東		51.1	50.8			
東海	53.4	53.5	59.2			
近畿	48.8	53.8	54.2			
九州	48.2	56.5	54.5			



### (3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

#### 北海道

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・来店客の購買意欲がやや上向いている。
		百貨店(売場主任)	・春の衣替えシーズンで売行きが良く、雰囲気良くなってきている。
		百貨店(売場主任)	・会社勤め用などの一部商品は厳しい状況にあるが、全体的にみてヤング、ミセス、ミドル層の購買は増加している。
		旅行代理店(従業員)	・個人旅行の需要はこれから良くなっていく。
	変わらない	スーパー(店長)	・衣料品、雑貨などの単価の上昇がほとんど望めない。
		家電量販店(店長)	・日常品には動きがあるが、大型商品(TV等)には動きがない。
		家電量販店(店員)	・進入学関係の消費が伸びていない。
		高級レストラン(スタッフ)	・良くなる要素がみあたらない。
		旅行代理店(従業員)	・個人需要は活発であるが、法人関係の需要が鈍く、全体としては変わらない。
	やや悪くなっている	美容室(経営者)	・購買が活発でない。
		スーパー(店長)	・買物に対して厳しい傾向がみられる。
		高級レストラン(スタッフ)	・団体客の来店が悪化してきている。
		スナック(経営者)	・飲食店のみならず、ゴルフ場なども接待に全く利用されていない。
	タクシー運転手	・有珠山の噴火で来道客が減少すると、観光目的のタクシー利用に影響があると思う。	
悪くなっている	-	-	
企業 動向 関連	良くなっている	非製造業[建設機械レンタル](総務担当)	・早めの予算成立で、4月以降施行が本格化する。
	やや良くなっている	輸送業(総務担当)	・雪解けで、新しい動きが出始める。
	変わらない	非製造業[建設機械リース](支店長)	・決算のために押し込み契約をしているが、先の見通しは不安である。
		輸送業(支店長)	・景気の牽引役の産業が北海道にはない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	司法書士	・22年前にも有珠山の噴火で、取引のあった土産店が倒産した。
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社(社員)	・派遣社員の受注や採用の増加に加えて、中途採用の紹介が増加しており、新しい展開がみられそうである。
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	・建設関連、貨物運送関連の求人が増加している。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・求人広告が前年の5月ごろから伸びてきており、今年も同様の基調とみられる。 ・雪解けとともに動き出しそうな予感がある。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・いずれの会社も4月以降に事業拡大を行う様子がない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

東北

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	高級レストラン(スタッフ)	・現在の予約状況を見ると4月以降も良くなるとみられる。
		タクシー運転手	・花見や歓迎会など人の動きが活発になるため、今後の売上増が期待できる。
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・季節も穏やかになり、行楽や行事などで人の動きが多くなる時期であり、経済効果を期待したい。
		百貨店(売場主任)	・婦人衣料を中心とした服飾、雑貨関連の売上が前年を上回るようになってきている。
		観光型ホテル(経営者)	・6~7月の観光シーズンの予約状況が、前年以上を確保している。 ・関西方面の客の増加が目立っている。
		住宅販売会社(経営者)	・契約前の仮申込が増加しており、2~3か月後には住宅着工に結びつくだろう。
	変わらない	百貨店(企画担当)	・ヤング、ミセス層には依然買い控え傾向があり、今後も購買動向に大きな変化は期待できない。
		スーパー(店長)	・無駄な買物をしない、必要な物以外は買わないという傾向が依然として強い。
		スーパー(営業企画担当)	・仙台商圏では、大小の新規出店が増加しており、既存店で例年並みの売上を確保していくのはかなり難しい。
		高級レストラン(スタッフ)	・法人需要がわずかながら増加しているが、単価は依然として低い。
		都市型ホテル(経営者)	・季節的な要因もあるが、現在、予約状況が若干良くなってきており、この傾向が続くとみられる。
		美容室(経営者)	・美容室への来店回数も減少しており、自分で髪を染めるなどの客が多い。
	やや悪くなっている	スーパー(企画担当)	・同業者の倒産や廃業のうわさが流れるなど、全体的にマインドが悪化している。
		衣料品専門店(店長)	・リストラにより新たな職場へ転属したために、新しいスーツを買い求める客が目立っている。
悪くなっている	旅行代理店(従業員)	・旅行商品の価格が低下し、販売数を増加させても収益が上がらない状況にある。販売件数自体も減少している。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業(従業員)	・同業者から、仕事は増加傾向にあるものの、短納期のため部材調達が行えず、受注できないという話を聞く。
		輸送業(経営者)	・各企業の合理化も相当進んでおり、若干ではあるが回復に向かうだろう。
	変わらない	食料品製造業(従業員)	・首都圏の景気が若干上向いているようにみえるが、地方に波及するにはまだ時間がかかる。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・企業側の設備投資の増加や、新戦略を打ち出していくことによる人材の社外調達といった動きがある。
		新聞社[求人広告](担当者)	・仙台近郊の大型ショッピングセンターのオープンや、新しい道路、鉄道の開通の影響が、市場に反映されるとみられる。
		新聞社[求人広告](担当者)	・4、5月に関してはあまり良くないが、6月以降は広告の出稿状態からみてかなり良くなるとみられる。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・上向きを予感させるような内容の受注が余りない。
	悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

関東

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般レストラン(店長)	・客数、売上ともに増加している。単価も今後上昇するとみられる。
		その他レジャー施設 [ アミューズメント ](職員)	・家族での来場が増加している。また、自社を含め同業の企業で積極姿勢に転じる動きがみられる。
	変わらない	スーパー(店長)	・パソコン、ゲーム機のような、高価でも比較的新しい商品は売れているが、衣料品、食料品等を含んだ全体を底上げするほどの効果はない。
		家電量販店(店員)	・景気が好転する材料がない。ただし、趣味、嗜好品に対しては消費を惜しまない傾向にある。
	やや悪くなっている	その他サービス [ 語学学校 ](営業担当)	・季節的要因で3月は景気が良いと感じるが、5、6月になるとボーナス前で支出を控える。
		その他サービス [ 学習塾 ](経営者)	・客数に比べ同業者が多く競争が激しいため、良くなる気配が感じられない。
悪くなっている	一般小売店 [ お茶 ](経営者)	・客の消費に対する警戒心が強く、余分な買物は絶対にしたくない。非常に安い物を探しており、厳しい傾向がこれからも続く。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	広告代理店(従業員)	・新聞折込用広告の製作が増加している。今まで受注のなかった会社からも引き合いがあり、積極的に広告を行おうとしている。
		その他企業 [ 情報サービス ](従業員)	・現在進行しているIT革命を肌で強く感じる。そのうねりが一段落すれば、景気は良い方向へ向かうと思う。
	変わらない	食料品製造業(経営者)	・新年度における法人関係の需要の伸びが見込めない。
		非製造業 [ 廃棄物処理 ](経営者)	・価格競争が激しく、低価格化が進んでいる。
		輸送業(統括)	・営業面でも仕事量が増加するような話はなく、このままの状態が続き良くなることはないと思うが、特に悪くなることもない。
	やや悪くなっている	その他製造業 [ 金属製品 ](総務担当)	・売上が増加せず、受注額が減少している。
悪くなっている	輸送業(営業所長)	・3月は決算期のために荷動きが多いだけで、2~3か月後は悪化すると予想される。	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・最近、求人広告を出しても応募者が少ない。これは企業の求人意欲が旺盛で、仕事がある証拠といえる。
		求人情報誌制作会社(営業担当)	・客の問い合わせが若干増加してきている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・人材派遣を利用する新たな企業が増加していることから、期間が限定でき、社員と同等の能力が期待できる人材の採用が進んでいる。企業にとって人件費の固定化を避ける傾向がみられる。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

東海

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなっている	高級レストラン(スタッフ)	・法人客、個人客ともに予約が好調である。 ・新メニューへの反応が良い。	
		都市型ホテル(スタッフ)	・JRセントラルタワーズの全面開業による波及効果が見込まれる。	
	やや良くなっている	一般小売店[土産](経営者)	・客の余裕ある買物態度が続くとみられる。	
		百貨店(販売促進担当)	・JRセントラルタワーズがオープンしたが入店客数に減少がみられず、消費の動きに力強さが感じられる。	
		スーパー(店長)	・家計におけるリストラ効果が現れつつある。	
		一般レストラン(スタッフ)	・繁華街の店舗の売上がやや上向きつつある。	
		観光型ホテル(スタッフ)	・宿泊客、宴会客、婚礼客の予約状況に明るい兆しがみられる。	
		テーマパーク(職員)	・団体予約がやや増加している。	
		旅行代理店(従業員)	・ゴールデンウィークの予約状況が海外旅行を中心に好調である。	
		タクシー運転手	・送迎予約が増加しており、この傾向は今後も続くとみられる。	
	変わらない	商店街(代表者)	・客数は増加しているが単価が伸びず、店員1人当たりのコストがかかる状況が続く。	
		百貨店(企画担当)	・必要な物しか買わない傾向が続く。	
		その他専門店[玩具](店員)	・必要な物しか買わない傾向が続く。	
		その他専門店[雑貨](店員)	・JRセントラルタワーズの波及効果は長くは続かない。	
		乗用車販売店(従業員)	・買い控えの傾向が続く。	
		スナック(経営者)	・予約状況に変化がない。 ・深夜の人出が少なく、景気回復の兆しがみられない。	
		ゴルフ場(経営者)	・予約状況に変化がない。	
	やや悪くなっている	百貨店(売場主任)	・JRセントラルタワーズの開業による売上増の反動が起きる。	
		スーパー(店長)	・客単価の低下、売上の減少傾向が続く。	
	悪くなっている	-	-	
	企業 動向 関連	良くなっている		
		やや良くなっている	輸送業(エリア担当)	・新年度より顧客の物流ニーズの一新が見込まれ、貨物量が増加するとみられる。
			司法書士	・医療法人、社会福祉法人にやや活発な動きがみられる。
			会計事務所(所長)	・顧問企業のなかで、勝ち組の勢いが負け組を上回りつつある。
		変わらない		
		やや悪くなっている		
		悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社(編集者)	・最近まで未定だった新卒採用を大幅増とする会社が増加している。	
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・派遣、契約社員、パート等の求人が多く、労働力に対するニーズが強まってきている。	
		求人情報誌製作会社(編集者)	・インターネット関連事業等で新規に事業を行う会社が増加し、増員が見込まれる。	
		新聞社[求人広告](担当者)	・求人広告が増加しており、この傾向が今後続く。	
	変わらない			
やや悪くなっている	-	-		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなっている	-	-

## 近畿

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	その他住宅[展示場] (従業員)	・客が住宅資金のセミナーで熱心に聞き入っており、住宅取得に対する意欲が盛り上がってきている。
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・気に入っても購入を我慢していた層が、気に入れば購入する傾向となってきた。
		商店街(代表者)	・来客数が増加している。
		その他専門店[時計] (経営者)	・全体に購入意欲が高まってきており、単価も徐々に上昇している。
		その他専門店[薬] (経営者)	・チラシ以外の商品も上向いている。
		観光名所(経理担当)	・個人のグループ、家族連れが若干増加している。
		旅行代理店(営業担当)	・夏場の旅行の申込が、今までより早くなってきており、申込件数が増加する。
		旅行代理店(営業担当)	・ジャパン・フローラ2000などの国内イベントの後押しや、ミレニアムの要素により、徐々に動きが活発化している。
		その他住宅[情報誌] (編集者)	・定期借家法の施行により広い家が出てくると思われ、賃貸住宅市場が活性化する。
	変わらない	商店街(代表者)	・買い控えが多い状況は変わらない。
		百貨店(売場主任)	・依然として商品の選択に大変慎重であり、購入までの時間が長い。
		その他専門店[宝石] (経営者)	・客の消費に関する環境が変わらず、消費意欲は依然高まらない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・予約状況が変わらない。
		競輪場(職員)	・公営競技を楽しむ余裕はなく、車券売上の増加の兆しは依然みられない。
	やや悪くなっている	百貨店(売場主任)	・景気の先行き、雇用に対する不安がある。
		自動車備品販売店 (営業担当)	・春闘のペースアップが低水準であり、消費が減少する。
		高級レストラン(店長)	・景気の悪い話が聞かれず、また、接待などの利用が減少している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・ビジネスマンの利用が減少している。
	悪くなっている	商店街(代表者)	・店主等の話は、先行き不安と売上減ばかりである。
		競輪場(職員)	・売上が連続して減少している。
企業動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業 (経営者)	・新規受注が増加している。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・新しい引き合いが活発である。価格問題の解決が期待できる。
		広告代理店(営業担当)	・新しい仕事が見られる。
	変わらない	その他製造業[紙加工品] (経営者)	・個人消費を上昇させる要因が依然少ないことから、製品の動きが必要最低限になっている状況に変わりはない。
		新聞販売店[広告] (店主)	・依然として求人への折込広告が少ない。
		経営コンサルタント	・依然、企業活動が余り活発でないため、生産財が動かない。
		その他企業[ネジ] (団体役員)	・ユーザーの購買力が回復していない。
	やや悪くなっている	その他企業[ゴム製プラスチック製履物] (団体役員)	・受注量が減少する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他企業 [ 自転車製造卸 ] ( 団体職員 )	・ 売上の前年割れが見込まれる。
	悪くなっている		
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社 ( 社員 )	・ 発注が 2 ~ 3 年途絶えていた派遣先や新規の派遣先からの受注が大変多く、スタッフの登録が間に合わない。
	やや良くなっている	人材派遣会社 ( 経営者 )	・ 派遣依頼は 4 月以降も順調に推移している。
		求人情報誌制作会社 ( 編集者 )	・ 求人広告の掲載内容から判断して、良いところと悪いところの差がはっきりしているが、良いところの方が多い。
	変わらない	人材派遣会社 ( 経営者 )	・ 受注面からみて、先行きが不透明である。
	やや悪くなっている	アウトソーシング企業 ( 経理担当 )	・ 銀行の統合などで様子見なのか、取引先の対応が遅れ気味で、受注が間延びする。
悪くなっている	-	-	

## 九州

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない )

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	商店街 ( 代表者 )	・ 最近の株価の上昇や郵便貯金の満期等が結びついていくことを期待している。
		百貨店 ( 販売促進担当 )	・ ファッション・トレンドが変化しマーケットにインパクトを与えている。 ・ 外商も法人需要が回復している。
		乗用車販売店 ( 従業員 )	・ 今年に入り消費も上向いてきており、現在の緩やかな回復がに続いていく。
		高級レストラン ( スタッフ )	・ 団体客の予約がかなり入っている。
		一般レストラン ( スタッフ )	・ 夜の来店客数が増加している。
		ゴルフ場 ( 従業員 )	・ 昼食で値段の高い物が注文されるようになってきている。
		旅行代理店 ( 従業員 )	・ 来客数が日々増加しており、ゴールデンウィークに向けて国内、海外ともに予約が集中している。
		旅行代理店 ( 従業員 )	・ 予約状況が現状も半年先も良い。
		住宅販売会社 ( 従業員 )	・ 毎月の返済額で断念していた顧客にも、再計画の動きがみられる。
	変わらない	商店街 ( 代表者 )	・ 良くなる兆しが無い。サミット開催で町の機運が高まることを期待する。
		一般小売店 [ 精肉 ] ( 経営者 )	・ 良くなってきている気配はあるが、見通しは不透明であり期待できない。
		百貨店 ( 営業担当 )	・ 紳士服の売上が落ち込んでいる。紳士服が伸びないということは、景気が停滞していることを意味する。
		コンビニ ( 店長 )	・ 春闘のベースアップがゼロであった。
		スナック ( 店長 )	・ 不安定な商売であり、客の入りを待っている状態である。 ・ 従業員の給料が重く感じられる。
		都市型ホテル ( スタッフ )	・ 予約の出方が遅く判断が難しいが、7 月には九州・沖縄サミットが開催されるため、その動向によって景気が左右されるとみられる。
		ゴルフ場 ( 支配人 )	・ 3 か月先の予約状況も厳しく、良くなる実感がない。
		競輪場 ( 職員 )	・ ギャンブルに支出するほど景気は回復していない。
		やや悪くなっている	商店街 ( 代表者 )
	衣料品専門店 ( 総務担当 )		・ 無駄遣いをしない傾向が強い。 ・ 衣料品はよく選別された物だけが売れている。
	一般レストラン ( スタッフ )		・ 客単価の低下が続いており、今後も景気は下降気味とみられる。
	住宅販売会社 ( 従業員 )		・ 企業のリストラが進行し、今回の賃上げのレベルであれば、消費は伸びない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・今回の公庫申込件数が今後の着工に影響を与えるため、6月までの着工戸数が減少するとみられる。
	悪くなっている	一般レストラン（経営者）	・客がゴールデンウィーク明けでお金を使ってしまっており、来客数は減少すると見込まれる。
企業動向 関連	良くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	・2工程でフル生産となっており、追加受注という形で仕事に追われている。
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	・主要得意先20社をみると、全体的に受注量が増加している模様だが、業種ごとに開きがある。
		広告代理店（従業員）	・チラシの枚数が以前と比べて増加している。
		輸送業（従業員）	・3月は手ごたえを感じた。4月以降、少しは良くなるとみている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の商社等は見積依頼が増加しているというが、成約件数は少ないようである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現在、半導体関係は好調であり、3か月以上先もこの状況が続くとみられる。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・4月以降、国内受注は減少するが、海外向けは増加する。
		輸送業〔倉庫〕（従業員）	・景気が良くなる要素がなく、アジアへの輸出も増加する見込みがないので、変わらない。
		経営コンサルタント	・一部で株式公開の話が出てきているが、全体的にみて景気が良くなったとは思えない。
	やや悪くなっている	輸送業〔陸上貨物〕（従業員）	・4月から1つの支店でフレックスタイム制が導入され、社員の残業を減らし、会社の支出を抑えようとする動きがみられる。
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・ここ数か月、リストラで削減した社員を補充する形での雇用が増加してきている。
		人材派遣会社（社員）	・教育サービス等に対する支出を増やす企業が、増加してきている。
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当）	・ITや派遣の営業で求人が増加しているが、全体を押し上げるか否かは不明である。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒者の就職浪人が増加しており、雇用悪化に拍車をかけるとみられる。
	悪くなっている	-	-

## (参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	32.0	37.0	46.1			
家計動向関連	29.7	34.9	43.6			
小売関連	29.2	37.0	40.8			
飲食関連	28.6	31.1	45.7			
サービス関連	31.1	33.5	46.6			
企業動向関連	33.6	39.1	48.5			
雇用関連	47.0	50.5	60.9			

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	32.0	37.0	46.1			
北海道	31.5	36.6	40.0			
東北	26.6	36.5	43.6			
関東		33.1	46.4			
東海	40.8	41.8	52.0			
近畿	27.2	33.6	41.9			
九州	33.2	40.4	52.6			

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方方向性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。



(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車、自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所、遊園地、テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業(精密機械も含む)	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス業店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位：人 / %)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
3	3.0%	0	0.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	8	1.3%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%